

農業集落排水事業を支援します

最適整備構想・事業計画書・設計・積算・現場管理

■最適整備構想の策定

農業集落排水施設の長寿命化対策に役立てるため、機能診断調査を実施し、調査結果を踏まえた最適整備構想策定を支援します。

■事業実施の支援

汚水処理施設や管路施設などの調査、測量、設計、施工管理等を支援します。

■事業計画の策定

農業集落排水事業採択に向けて、地域の実情に応じた事業計画書の作成を支援します。

■資源循環施設の整備

農業集落排水汚泥（普通肥料）を利用した、堆肥化施設（コンポスト施設等）の整備を支援します。

農業集落排水施設の機能強化事業採択までの流れ

県内には供用を開始している農業集落排水施設が59施設あり、供用開始後20年を経過した施設（老朽化施設）は増加している状況です。老朽化が進行している施設は、機能強化対策事業を活用して、機器類更新などの老朽化対策を行えます。

農業集落排水施設の現状と課題

- 施設の老朽化
- 処理施設やポンプの異常通報が頻発
- 経年劣化による機器類の不具合が発生
- 施設の長寿命化対策を実施する必要がある

採択4年前：機能診断調査
採択3年前：最適整備構想

※機能診断調査
200万円/1処理区(国費定額)
※最適整備構想
処理区数×100万円+200万円
(上限800万円)(国費定額)

機能診断・最適整備構想の作成

- 施設の劣化状況等を客観的指標で評価する機能診断調査を実施
- 機能診断調査に基づく機能保全コストを算出し最適整備構想を策定

採択2年前：事業計画書作成

※国費50%
事業主体50%で
計画書を作成

事業計画書の作成

- 施設の管理状況の確認、機能状態の調査
- 調査結果に基づく対策工法等の検討
- 地域の実情に応じた事業計画書の作成

採択年度

機能強化事業の導入

- 汚水処理施設、管路施設の老朽化対策（コンクリート防食工事・機器更新）
- 通報装置システムの更新、汚泥処理施設の追加

※供用開始後7年
以上経過した施設
を対象

機能診断状況



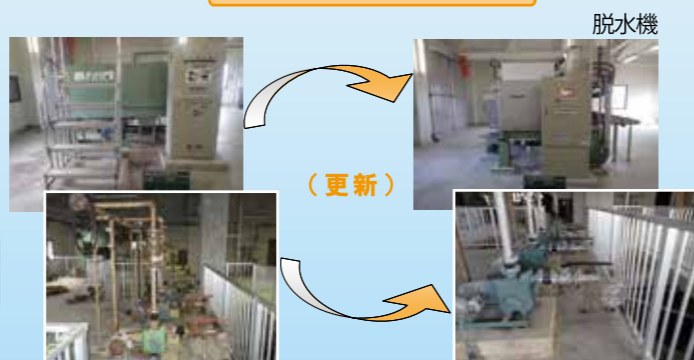
(処理施設)



(管路施設)

(中継ポンプ施設)

事業実施例



脱水機

汚泥引抜ポンプ

■機能強化事業実施中 (令和2年5月現在)
内 地：7施設 (全27施設)
離島・奄美：9施設 (全32施設)

農業集落排水事業が快適な生活環境を創造します



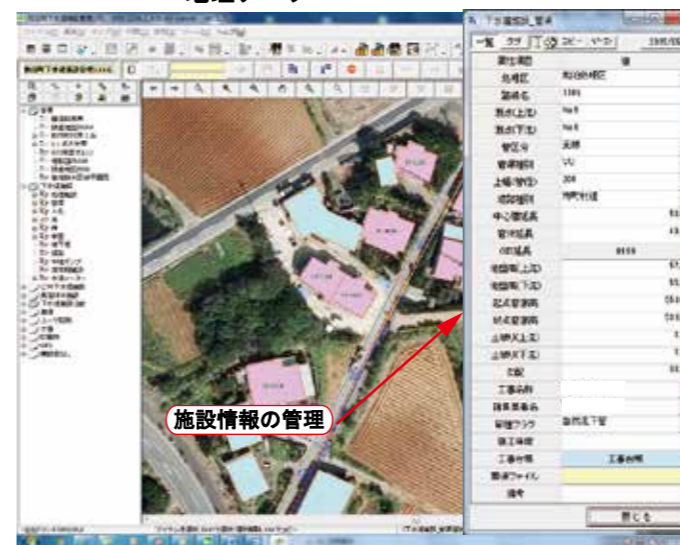
農業集落排水事業の概念図

農業集落排水（下水道）施設管理システム作成業務

[施設の属性確認]

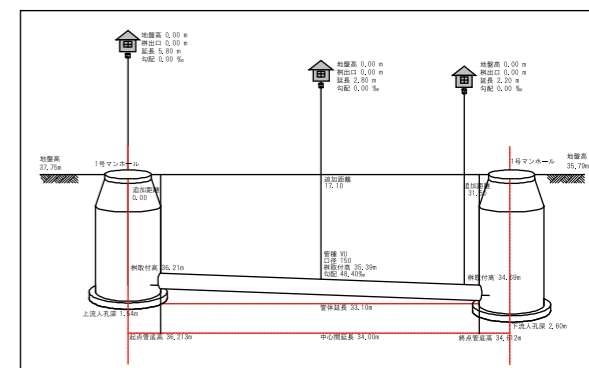
地理データ

属性データ



施設情報の管理

《模式図》



※自動作成

模式図、縦断図、横断図

※帳票出力

処理施設毎の総括調書
管路施設調書（管路延長、マンホール数、公共枘数、中継ポンプ数）

・集落排水（下水道）施設管理システムを整備することで、「位置情報」「属性情報」「関連情報」等を把握することができます。また、模式図等の自動作成や各種帳票出力が可能となります。

◆水土里ネット鹿児島では、技術と実績を活かした技術支援や、技術向上を目指した研修会の開催など、今後とも市町村と一体となった体制で、農村地域における自然環境の保全や生活環境の改善を支援します。また、農業集落排水施設の老朽化や維持管理についても、ご相談ください。



問い合わせは、事業部農村整備課または最寄りの事務所・支部まで